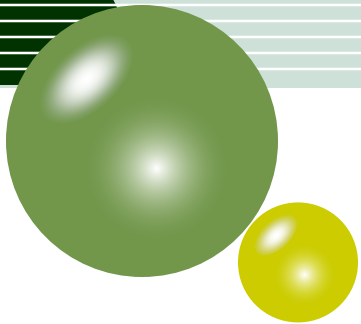
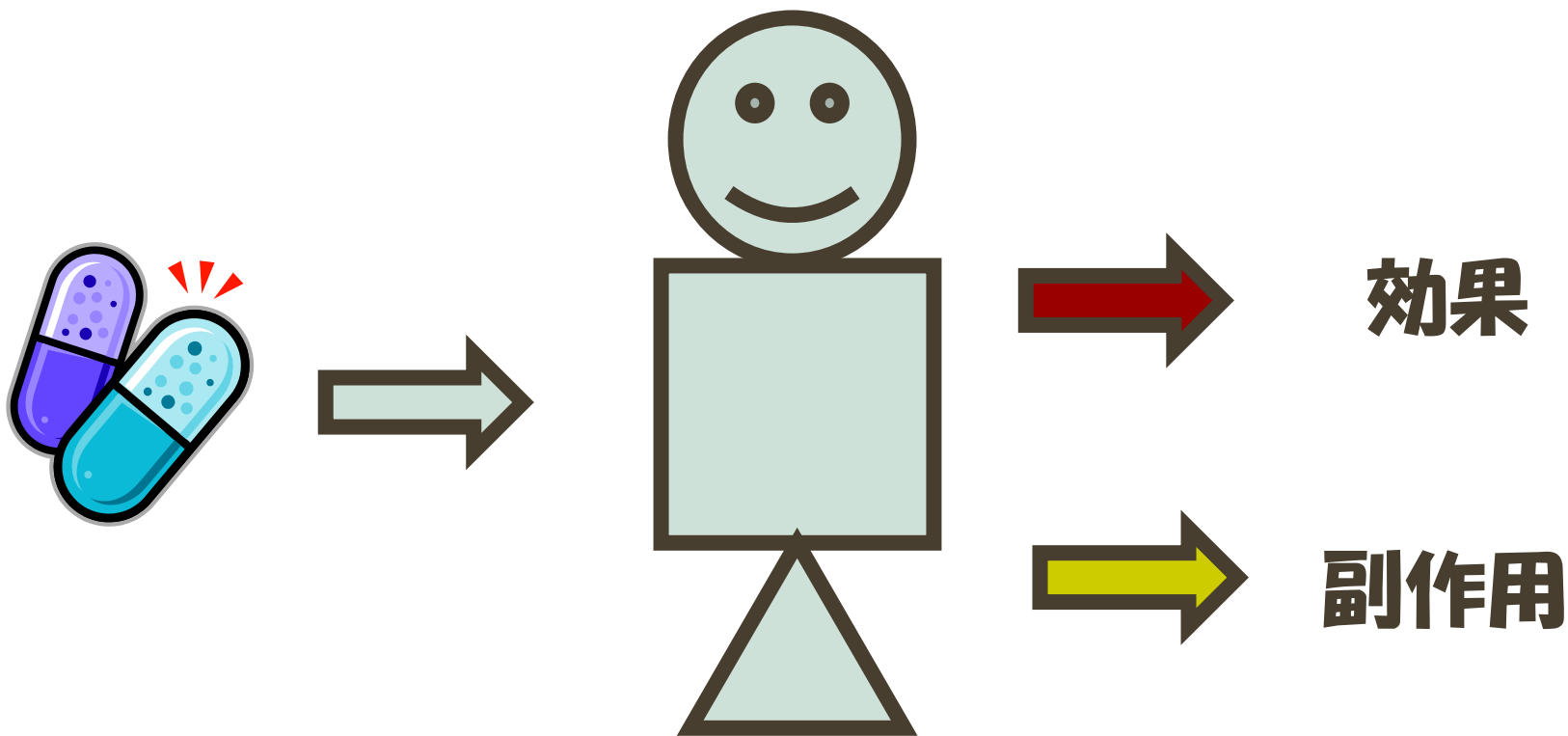


Logo

薬物動態学の基本を知る



人間の体はブラック・ボックス？

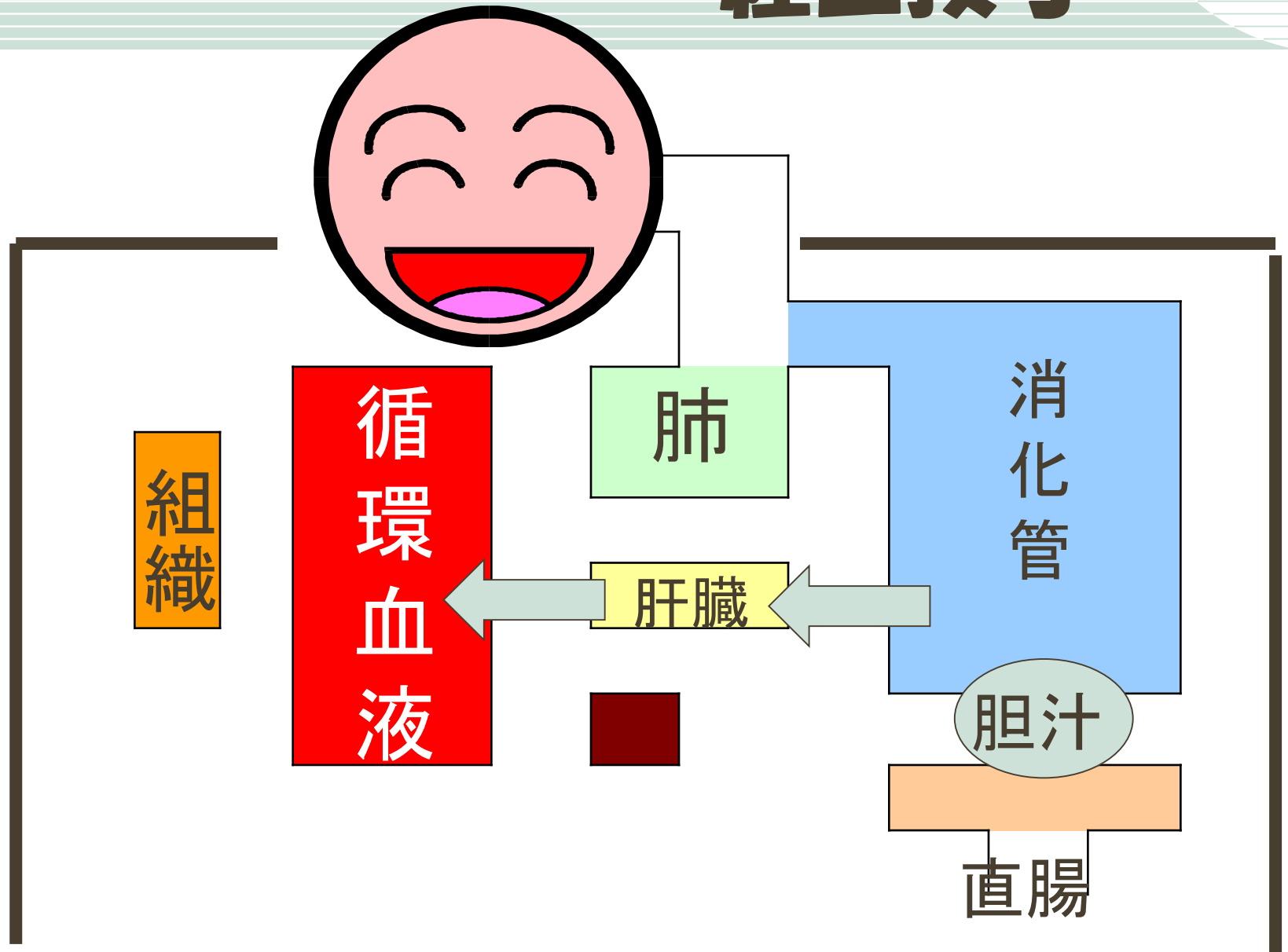


藥物動態學

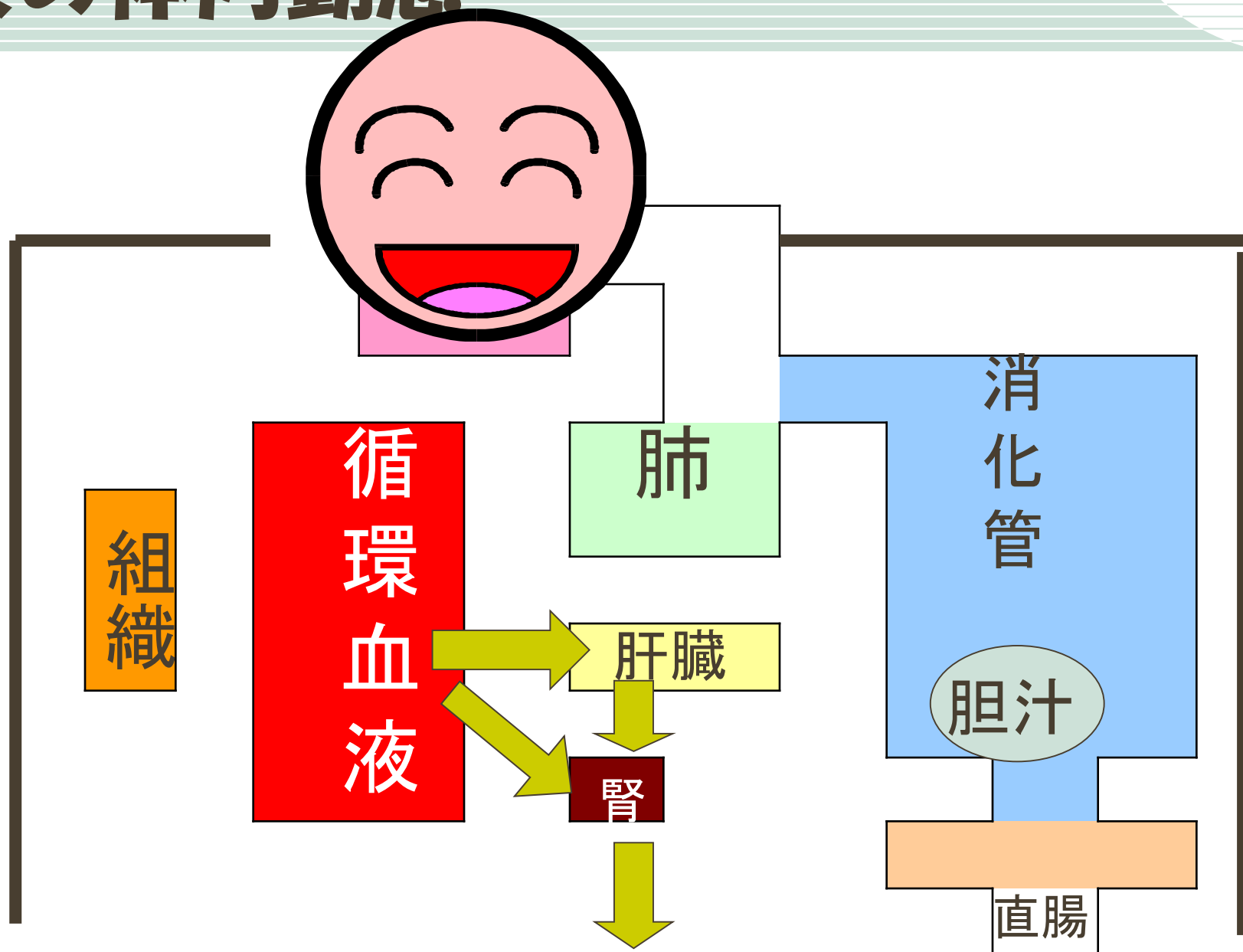
藥物動態 Pharmacokinetics (PK)

- 吸收 (Absorption)
- 分布 (Distribution)
- 代謝 (Metabolism)
- 排泄 (Elimination)

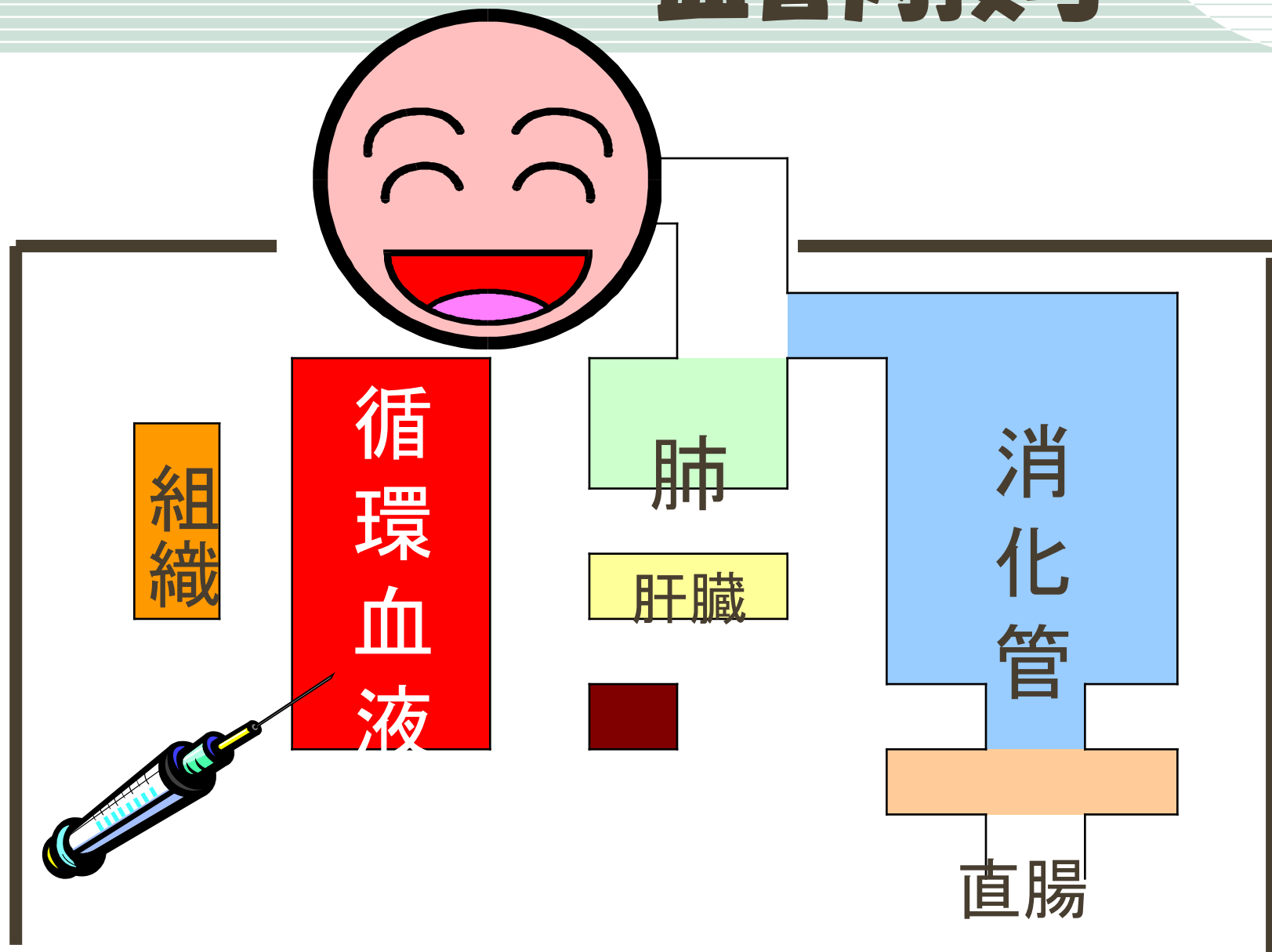
経口投与



薬の体内動態

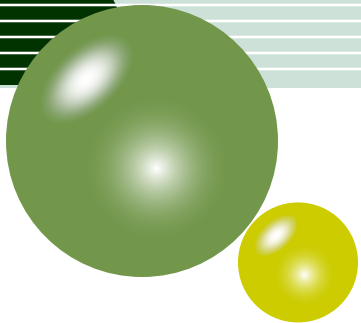


血管内投与

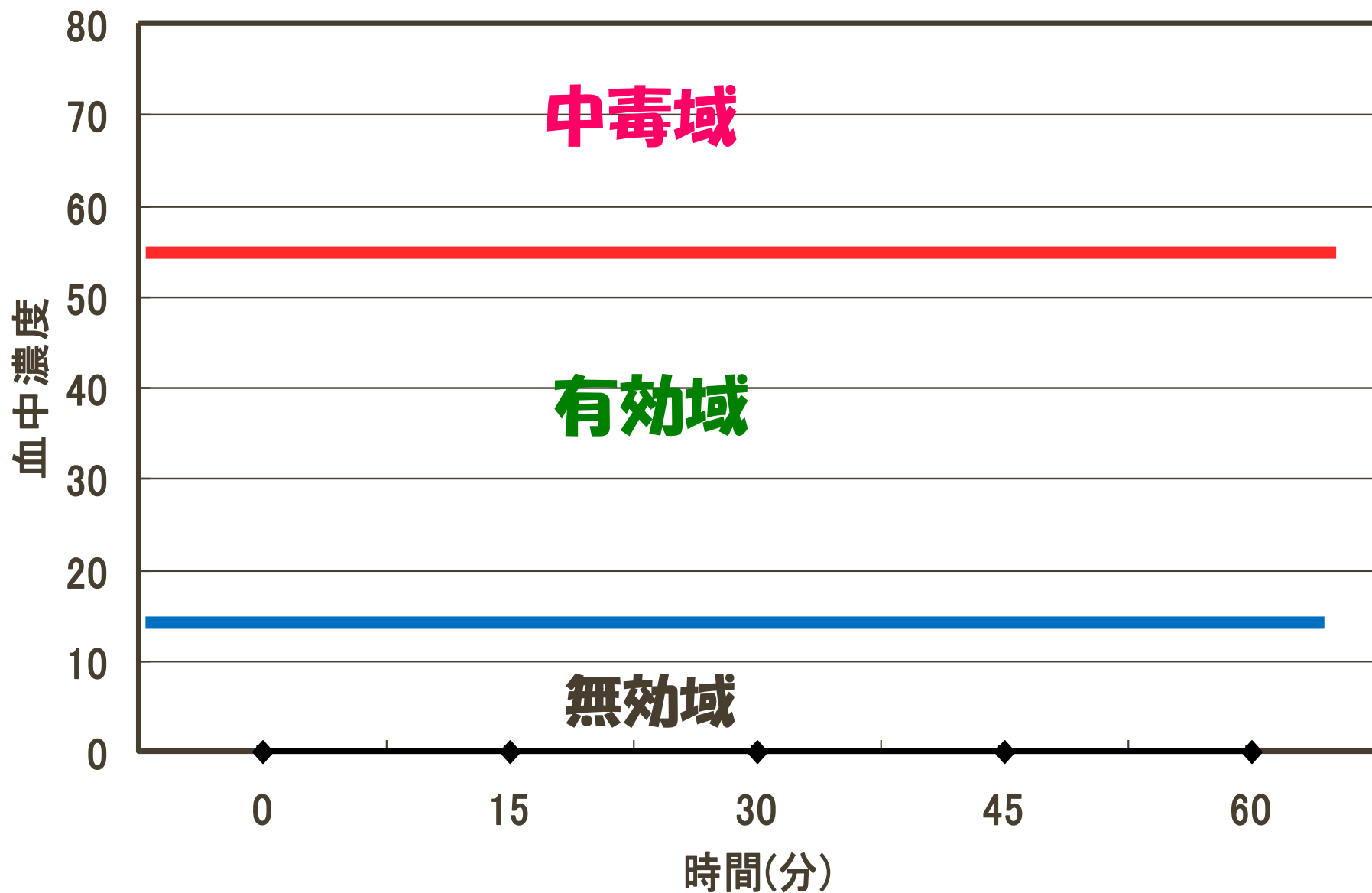


Logo

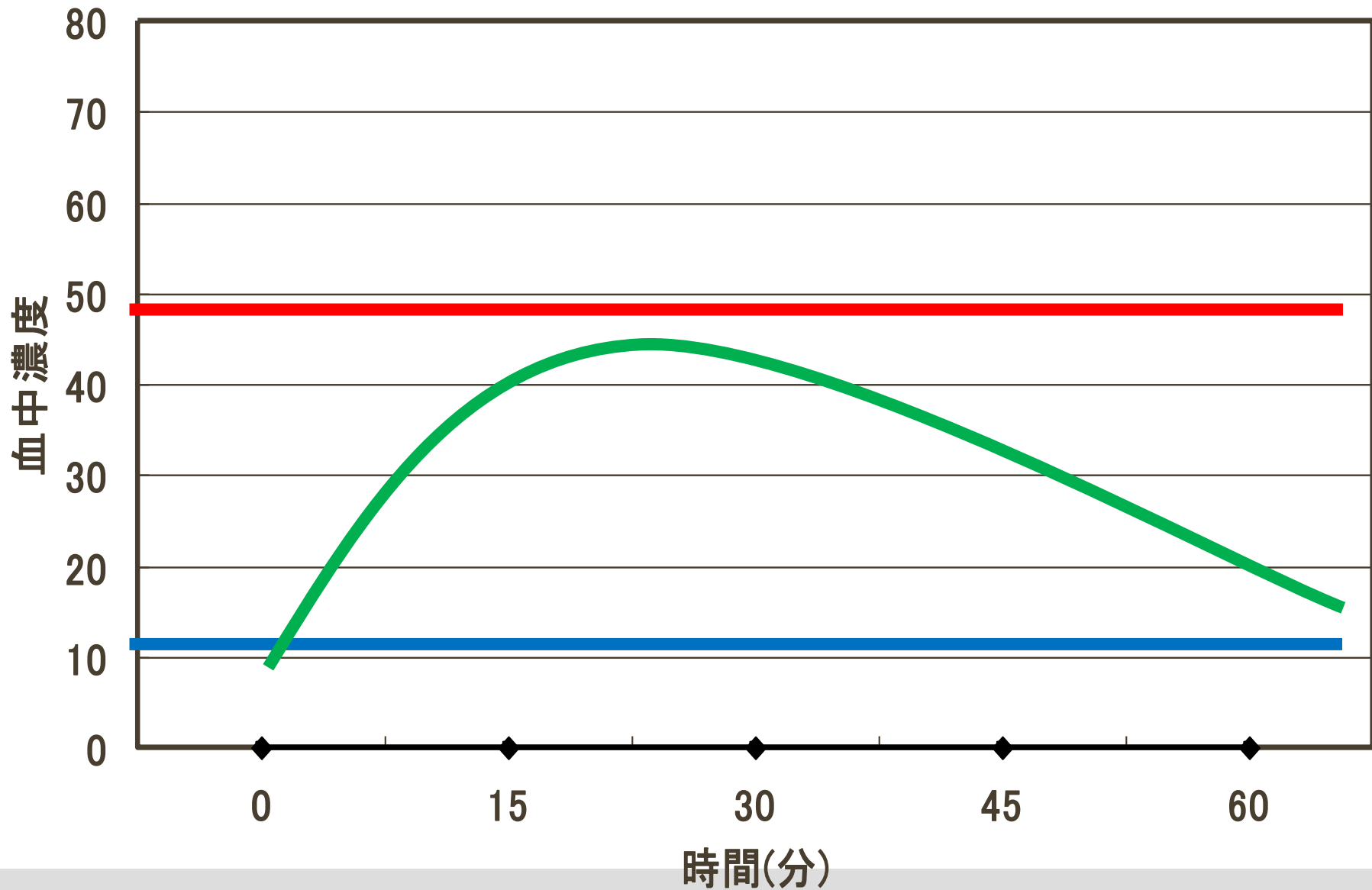
薬物の血中濃度推移を知る



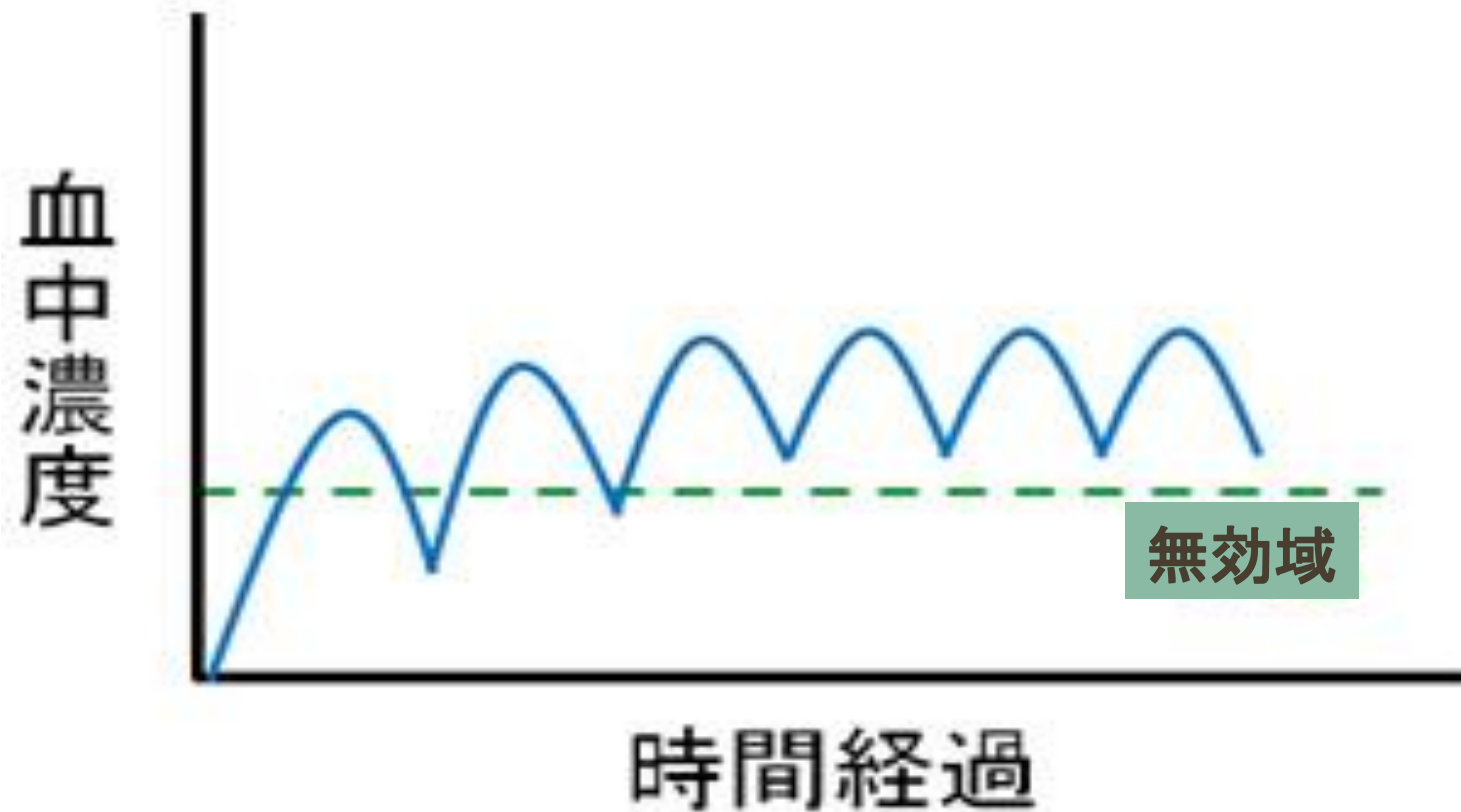
血中濃度推移



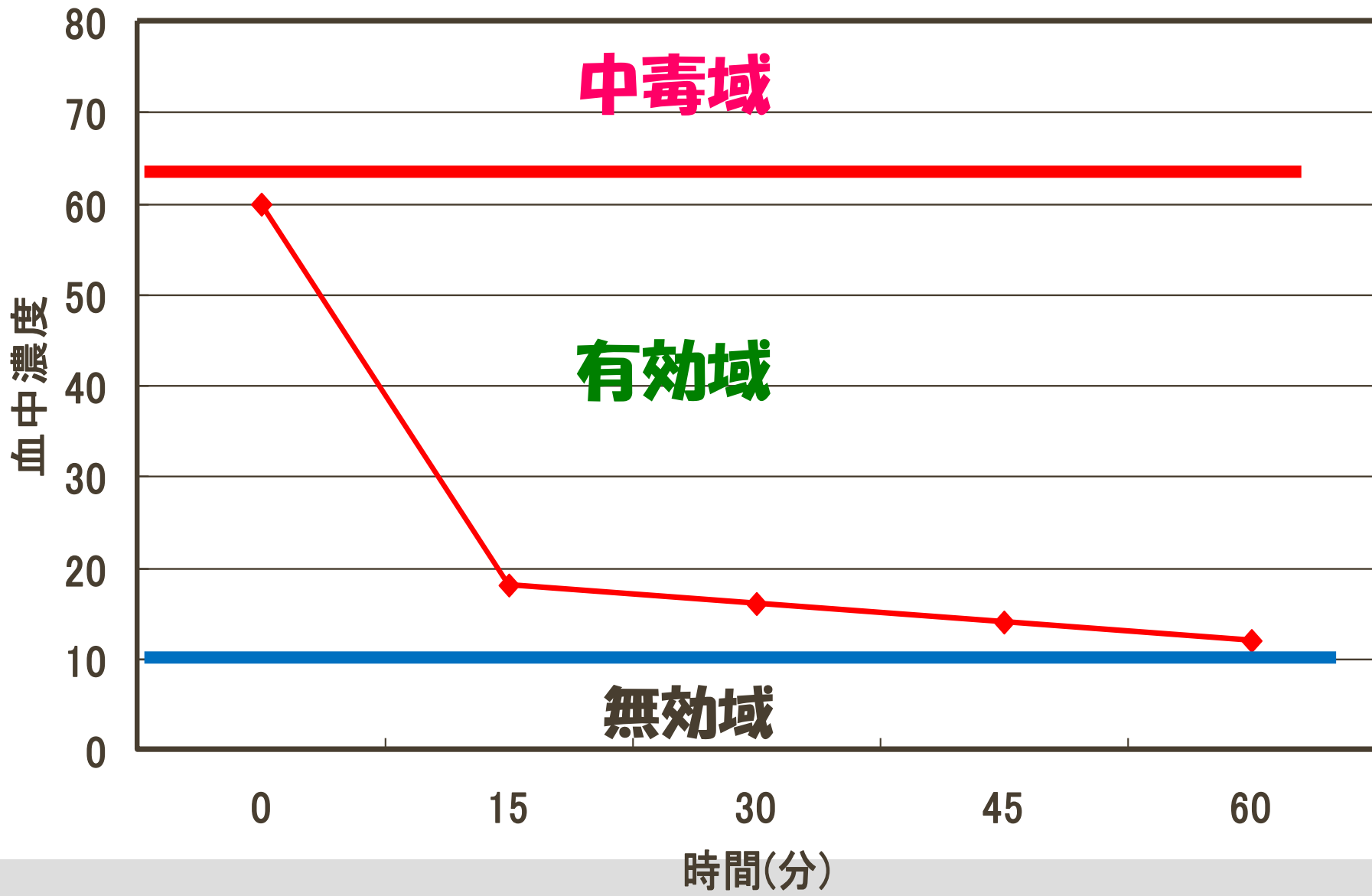
血中濃度推移 (内服)



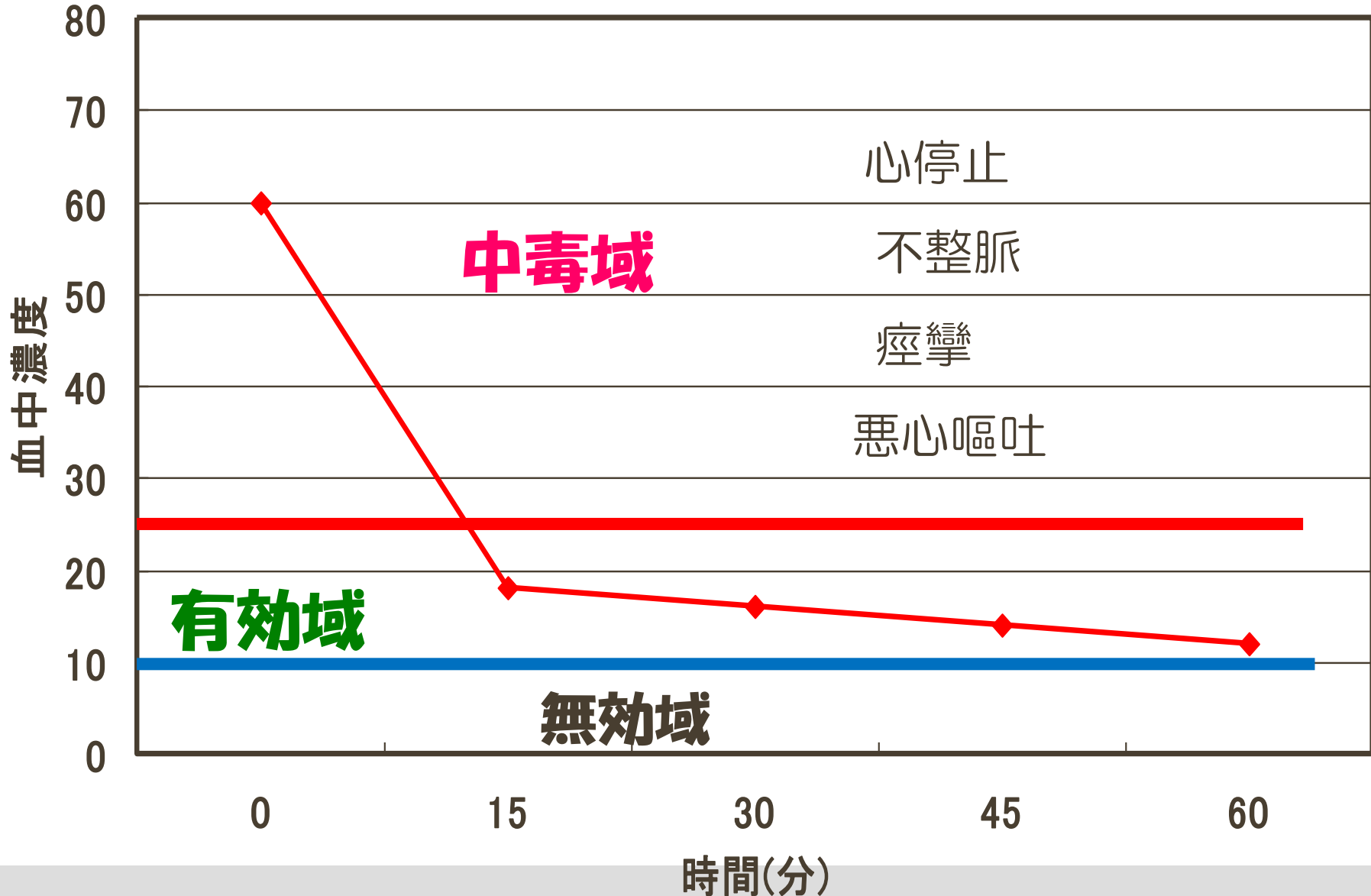
內服藥複數回投與



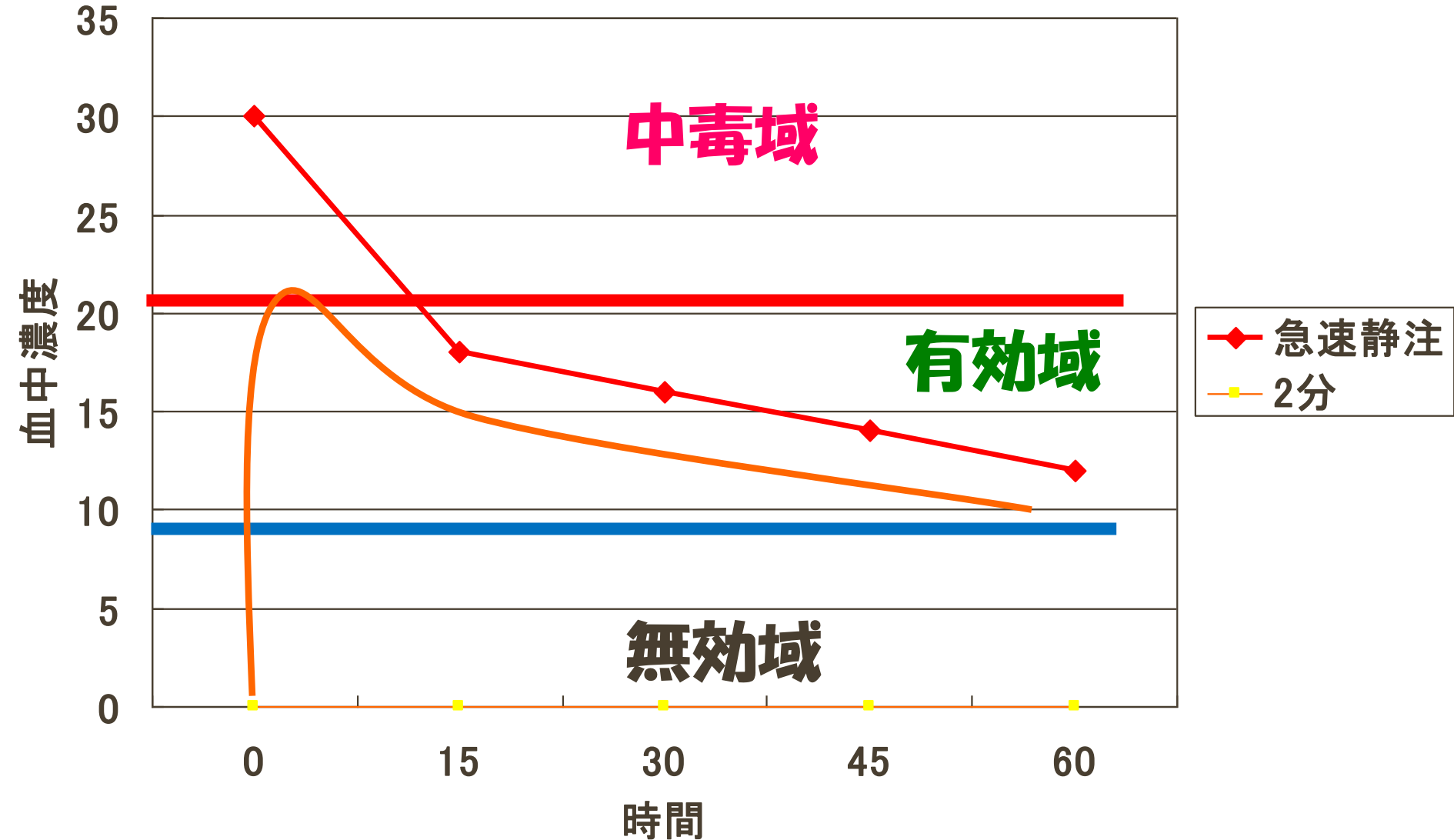
血中濃度推移 (注射)



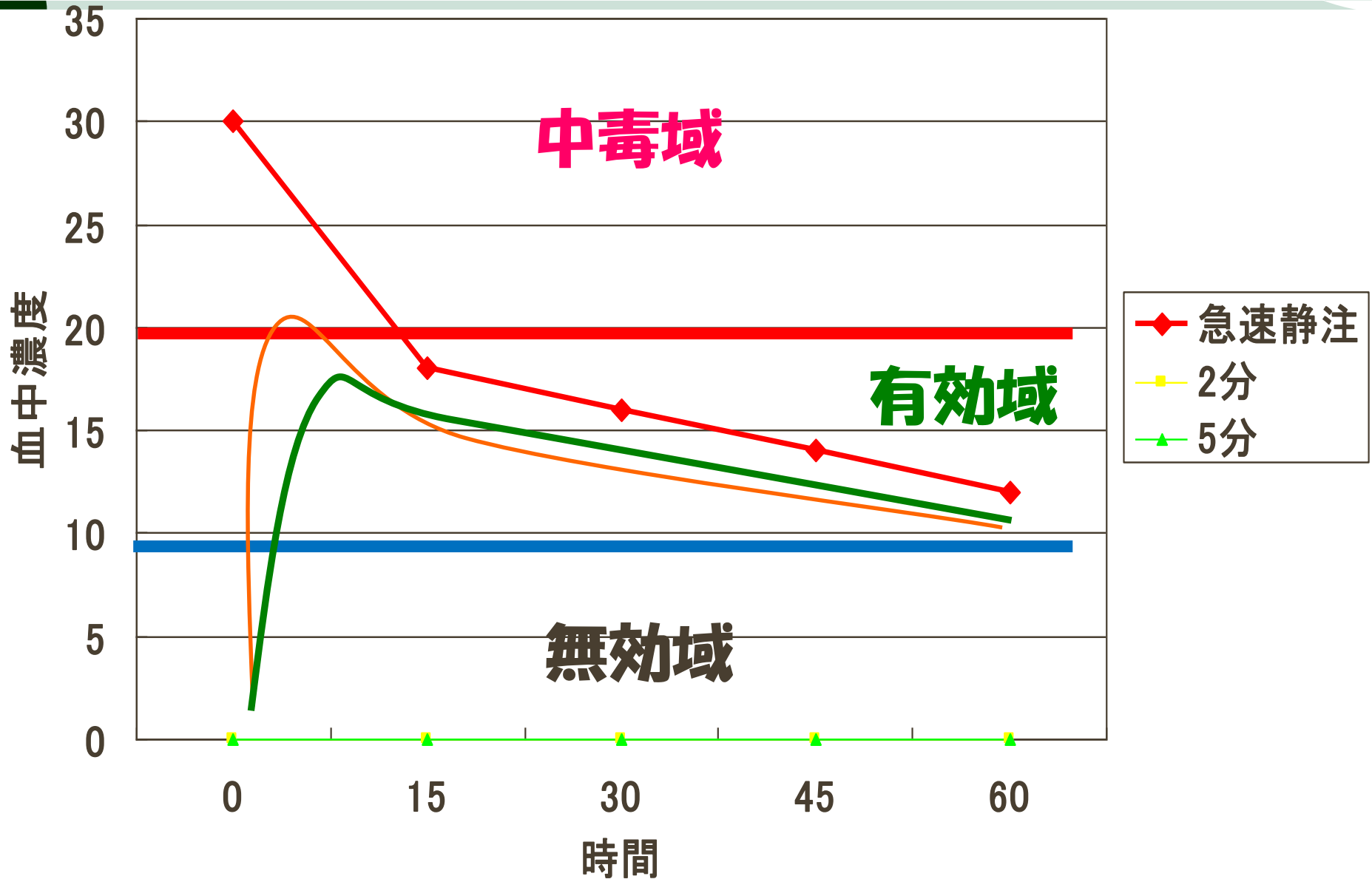
有効域の狭い薬



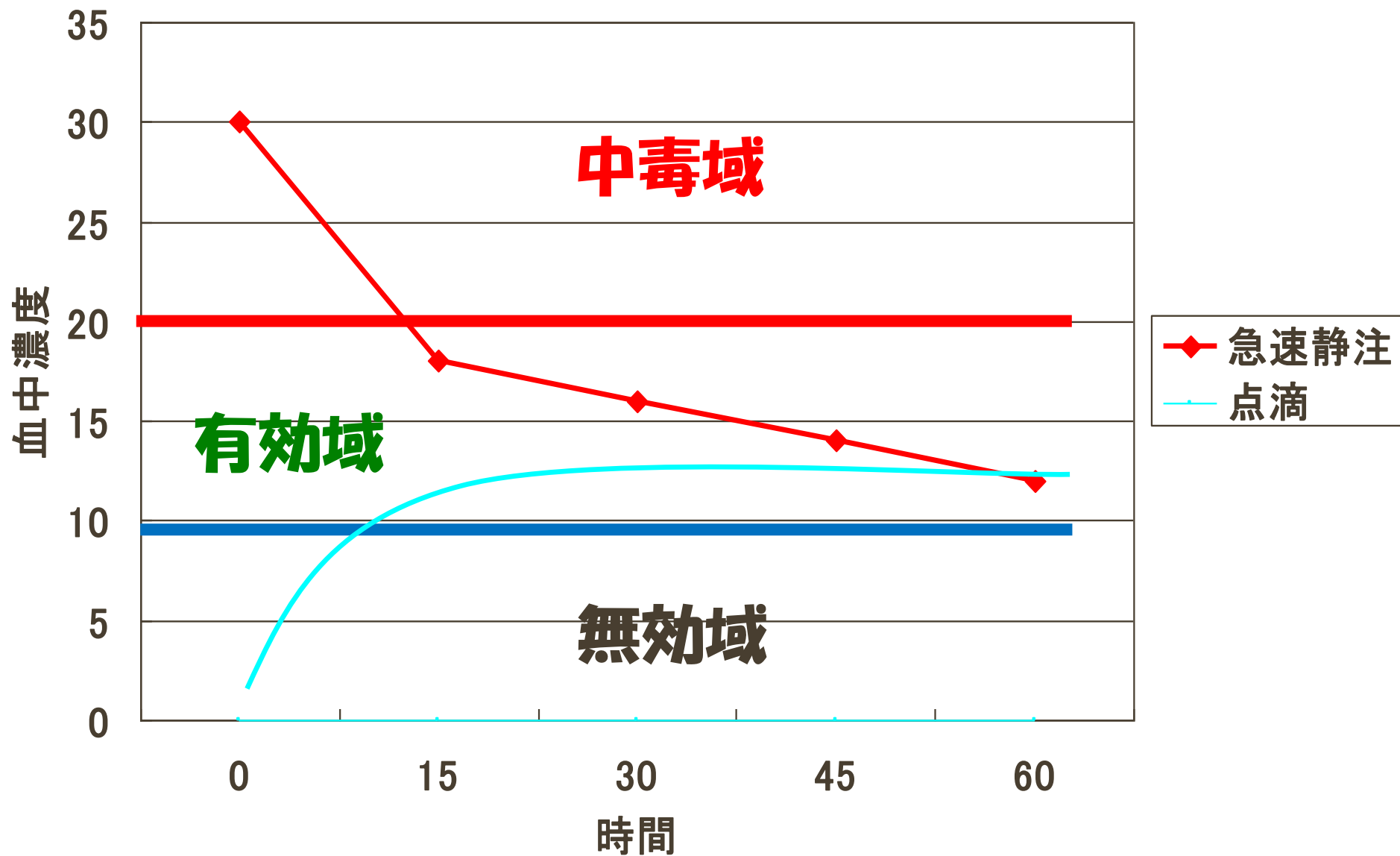
ゆっくり静注



極めてゆっくり静注



点滴静注



何故

多くの剤形があるのでしょうか？



医薬品の剤形



内用剤

口からのむ薬



カプセル剤



錠剤



散剤
(粉薬)



シロップ剤

外用剤

皮膚、目、鼻などの
粘膜に使用する薬



貼付剤



軟膏剤



坐剤



トローチ



点鼻薬



点眼剤

注射剤

血管内あるいは
皮膚や筋肉に
直接入れる薬



注射剤



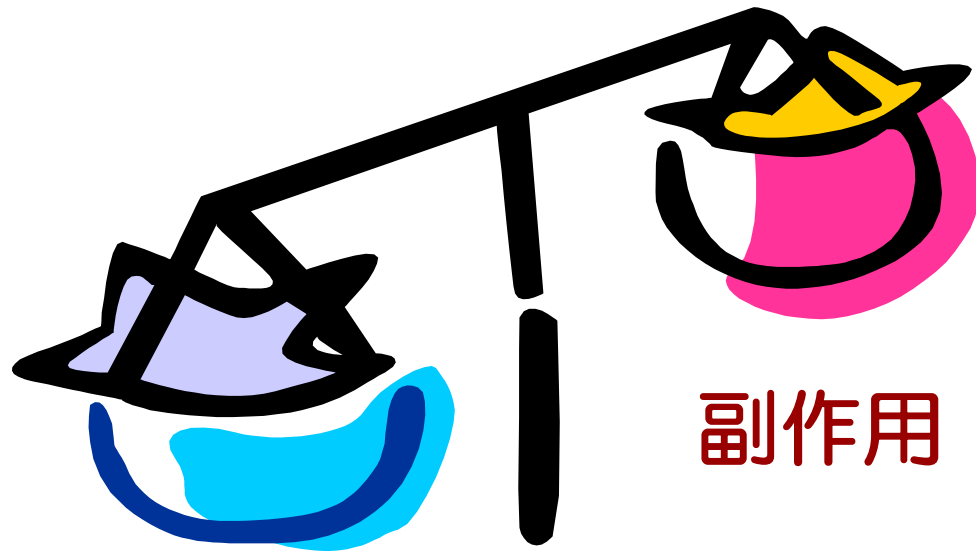
何が違うのでしょうか？

ボルタレン坐薬

ボルタレン錠



医薬品の理想

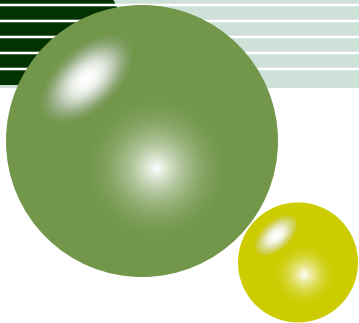


主作用

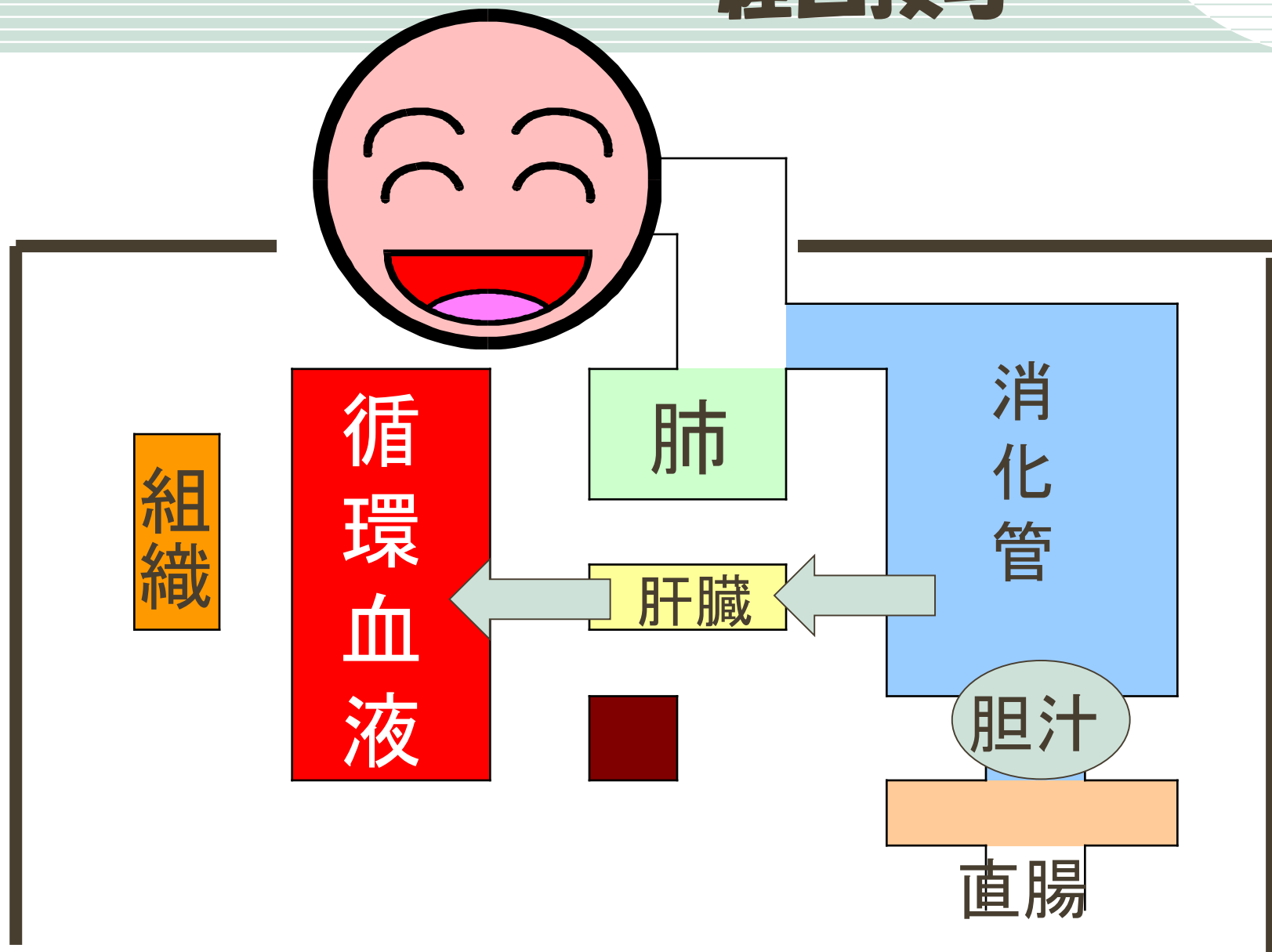
副作用

Logo

経口投与



経口投与



内服薬での注意

- 水を必ず飲む
- 湯冷し、水が望ましい
- 散剤を服用時、オブラートは幾重にも重ねない。



経口剤の利点・欠点

利点

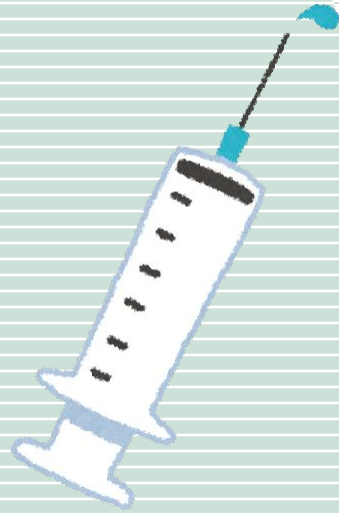
- 簡便
- 苦痛がない

欠点

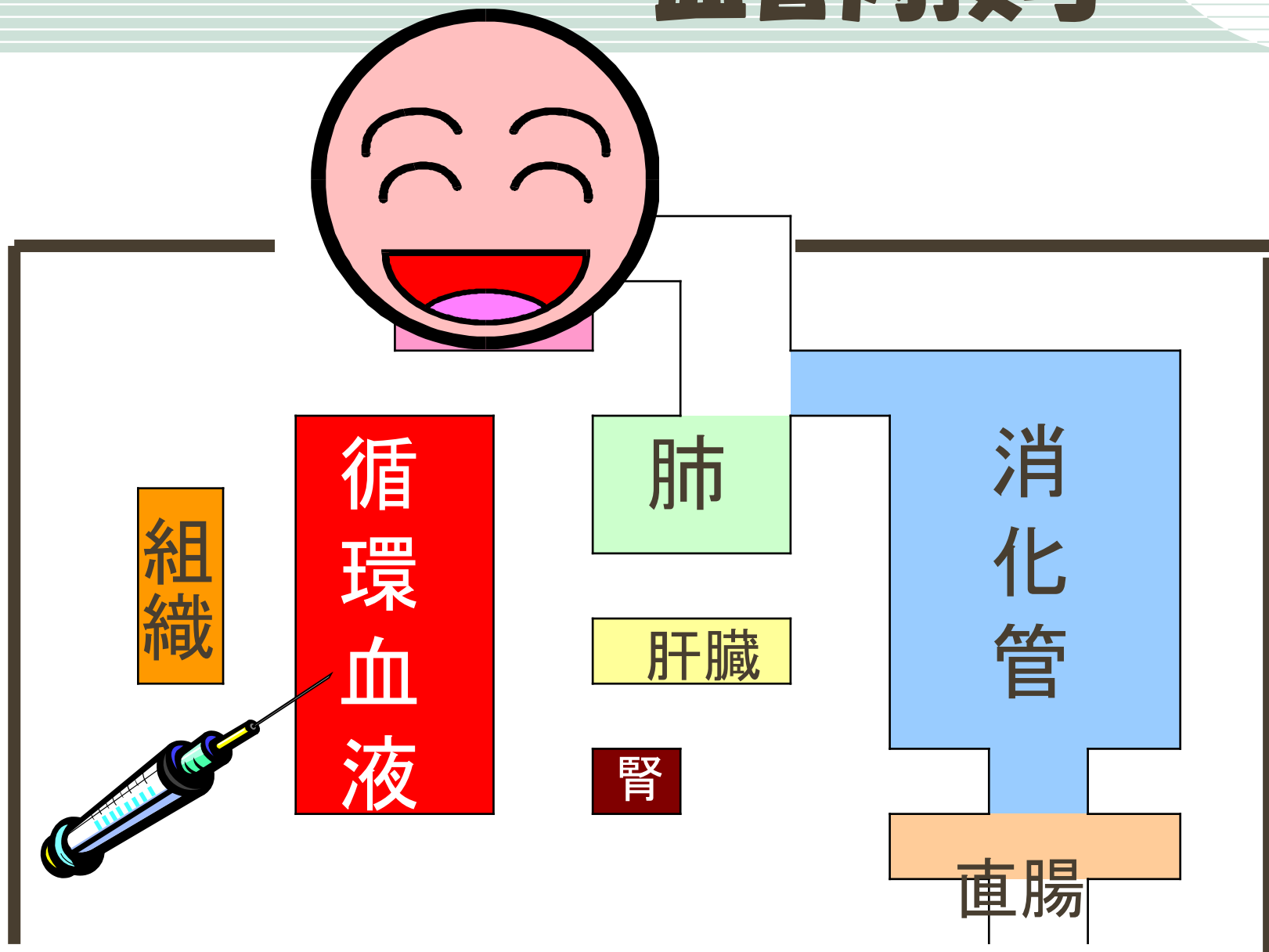
- 即効性が期待できない
- 吸収にばらつきが出やすい
- 消化管から吸収されないものに適応しない
- 経口摂取不可能な場合は使用できない

Logo

注射剂



血管内投与



注射剤の利点、欠点

利点

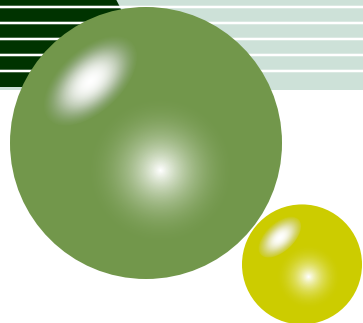
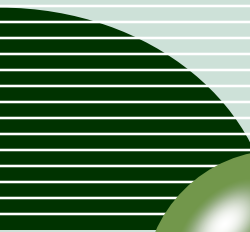
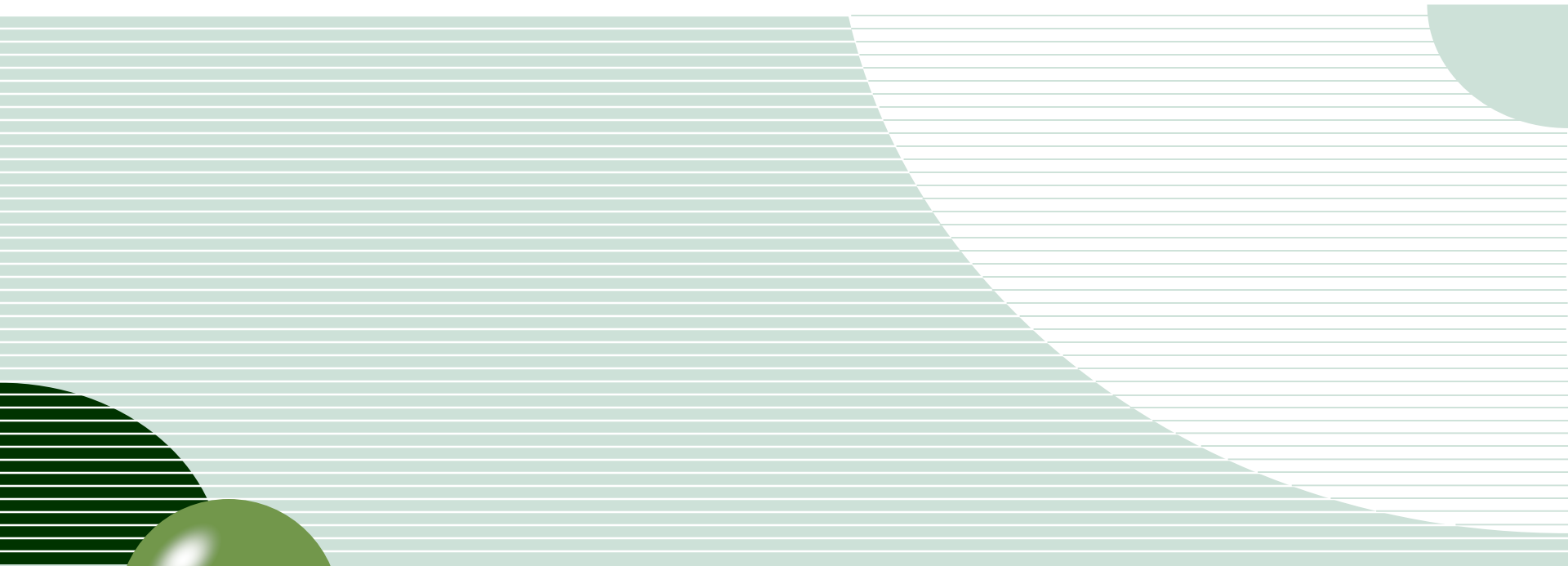
- 吸収過程がないため効果が100%現れる
- 作用発現のタイミングを図ることが可能

欠点

- 手技が必要
- 浸襲があり、感染、血管炎、塞栓、神経障害の危険性がある。

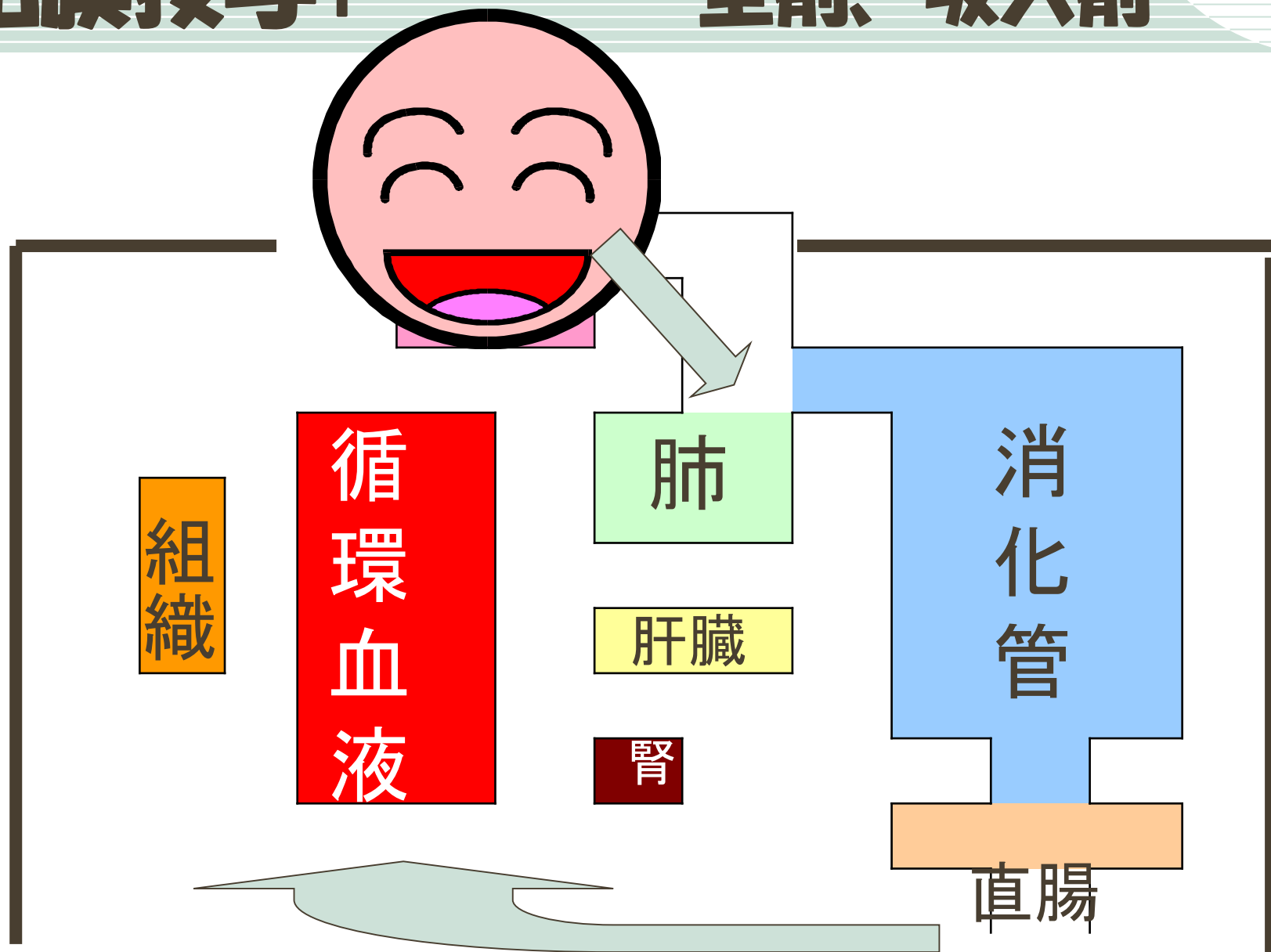
Logo

外用剤・その他



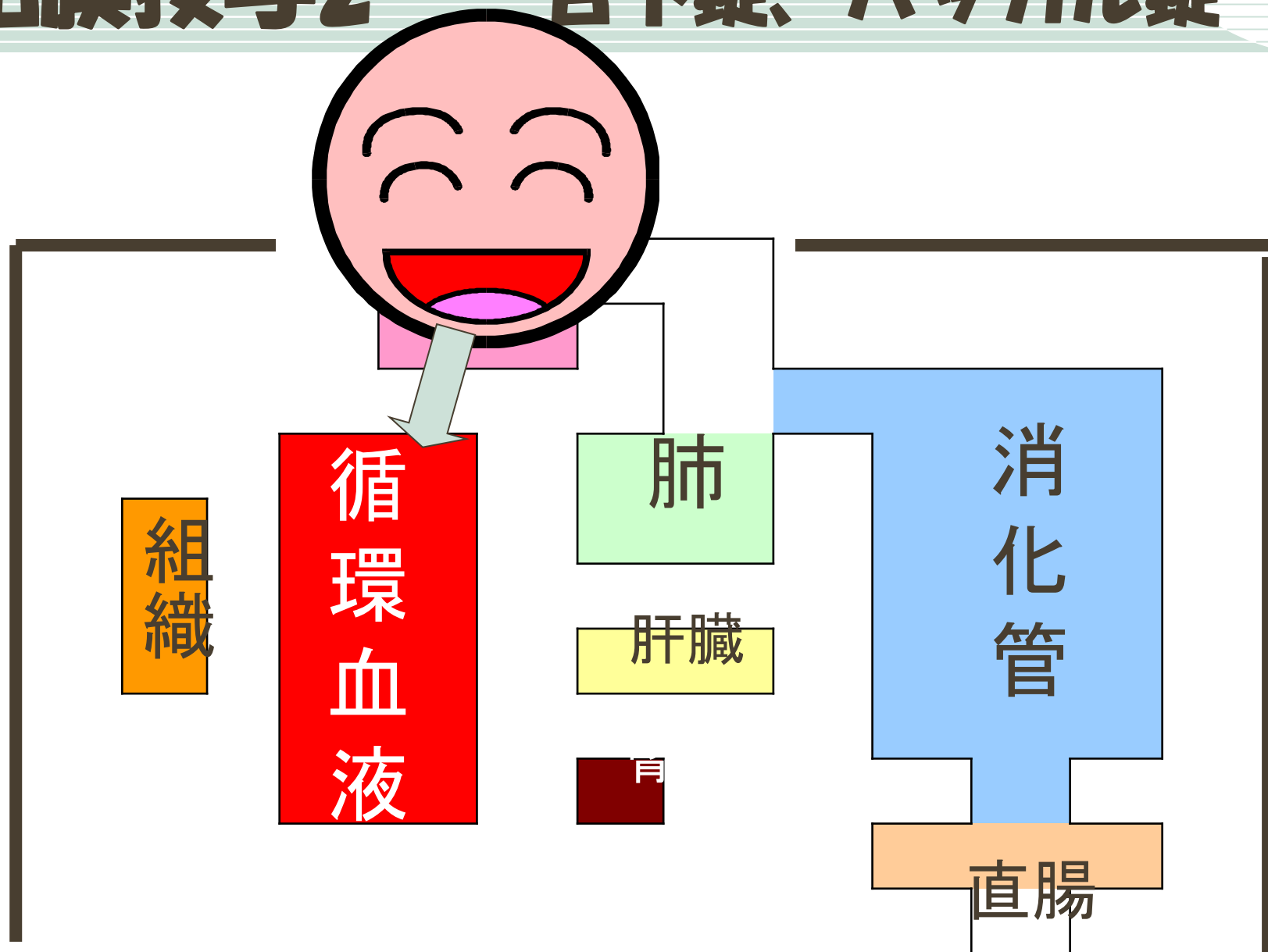
粘膜投与1

坐剤、吸入剤

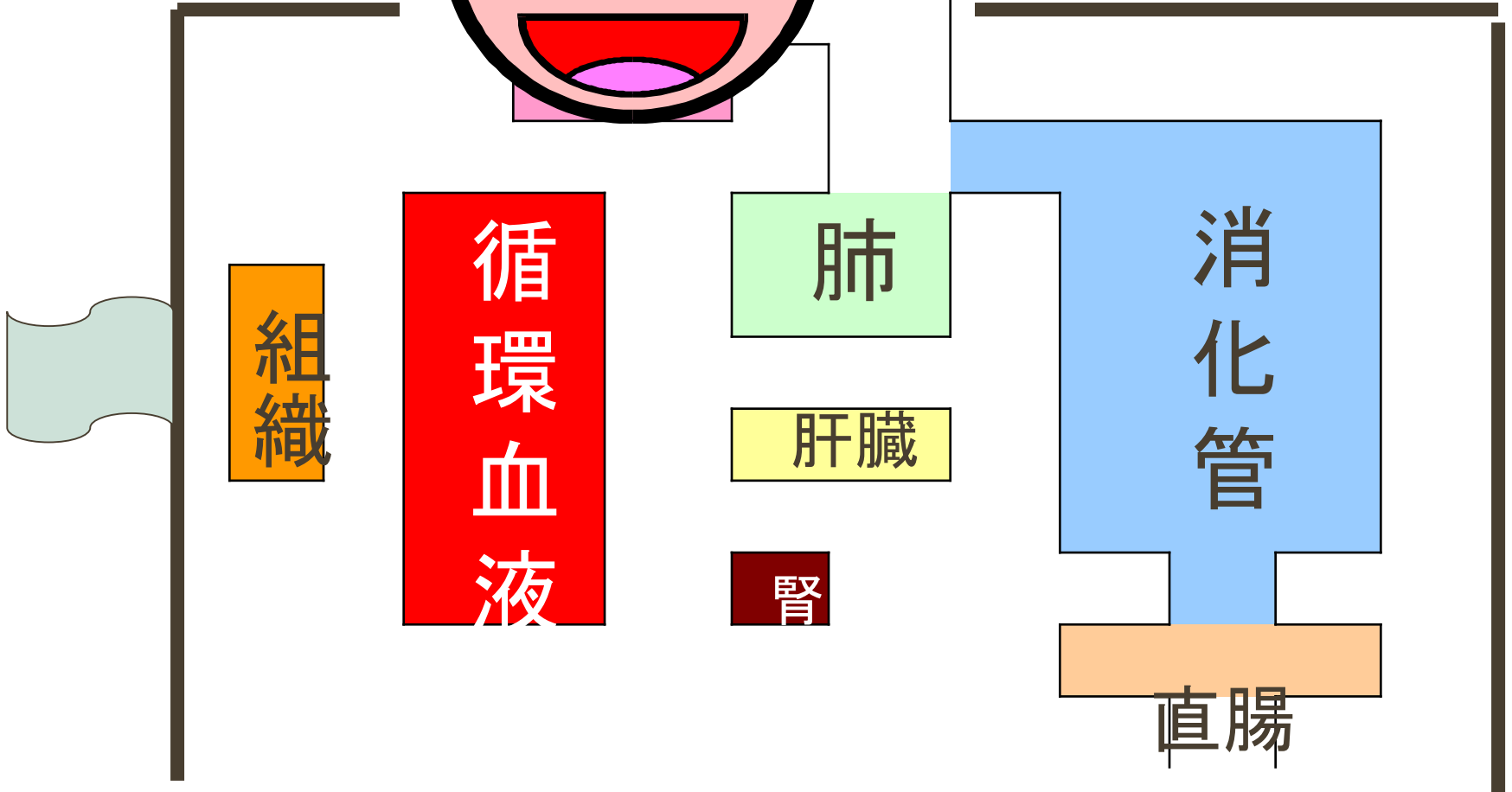
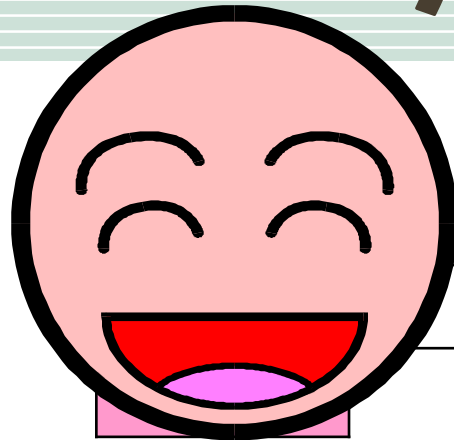


粘膜投与2

舌下錠、 Buccal錠



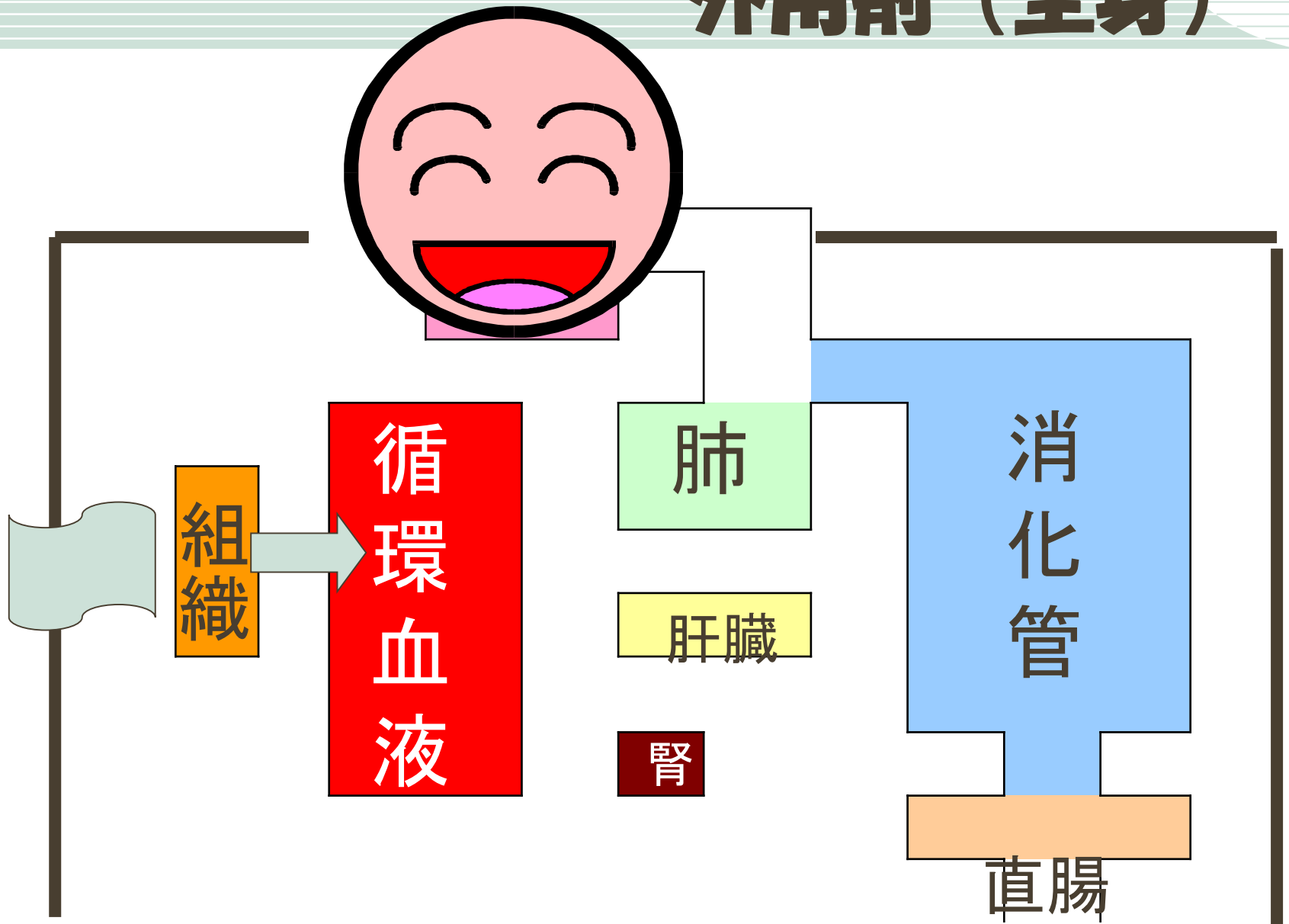
外用劑（局所）



皮膚からの吸収

外的因子から生体を守るためのバ
リヤーであるため、薬品の吸収に
ついてはほとんど考えられていな
かった。

外用劑 (全身)



経皮吸収製剤の特徴

- はがすだけで投薬の中断ができる
- 薬を服用できない、服用しない患者にも使用できる
- 皮膚本来のバリアーを利用しての徐放性の機能を有する製剤になる

くすりの剤形

注射剤 錠剤 坐剤 パッチ剤

作用発現時間の速いものから並べて下さい。



Logo

様々な剤形



口腔内崩壊錠 OD錠

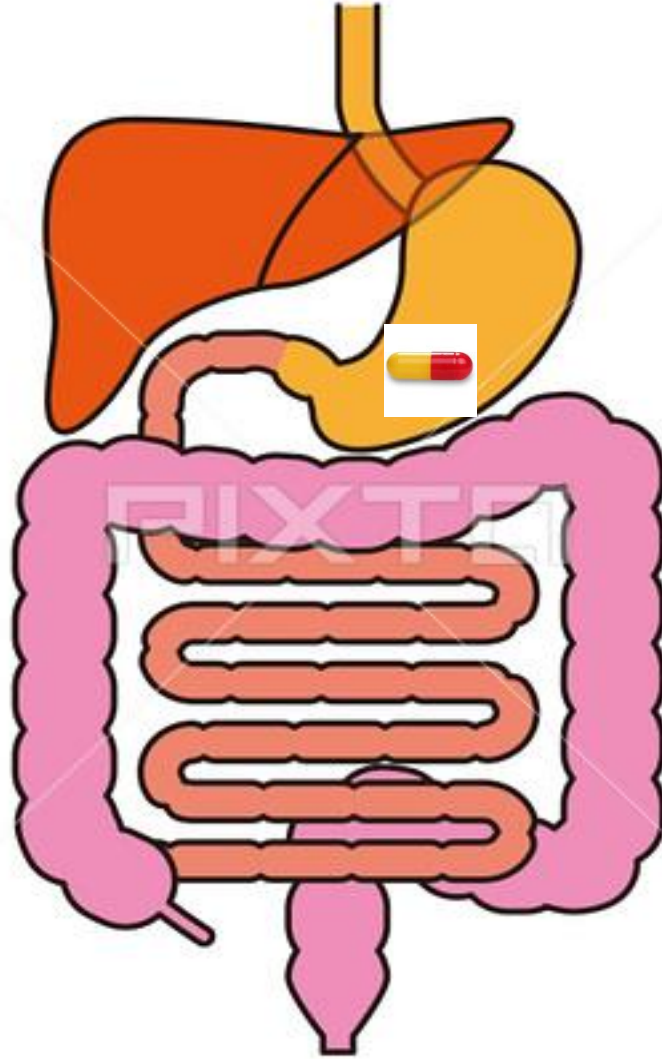
Orally Dispersing

- 口腔内崩壊錠は口の中で溶けるが、そこで吸収されるわけではない。
- 寝たきりの患者さん、唾液の少ない患者さんは水の服用が必要

バツカル錠

- 全身作用を期待し，歯と歯茎の間に挟み唾液により徐々に薬物を溶解させて，口腔粘膜から吸収させる錠剤。
- 噛んだり飲み込んだりしてはいけない。口腔粘膜は小腸などの消化管に比べると吸収性は低い
が，口腔粘膜から吸収された薬物は，門脈を経
ないで循環血に到達する。

腸溶錠



pixta.jp - 6413689

嚙んでは
いきません

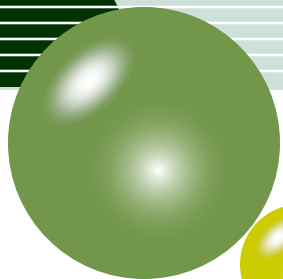
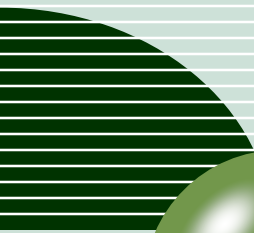
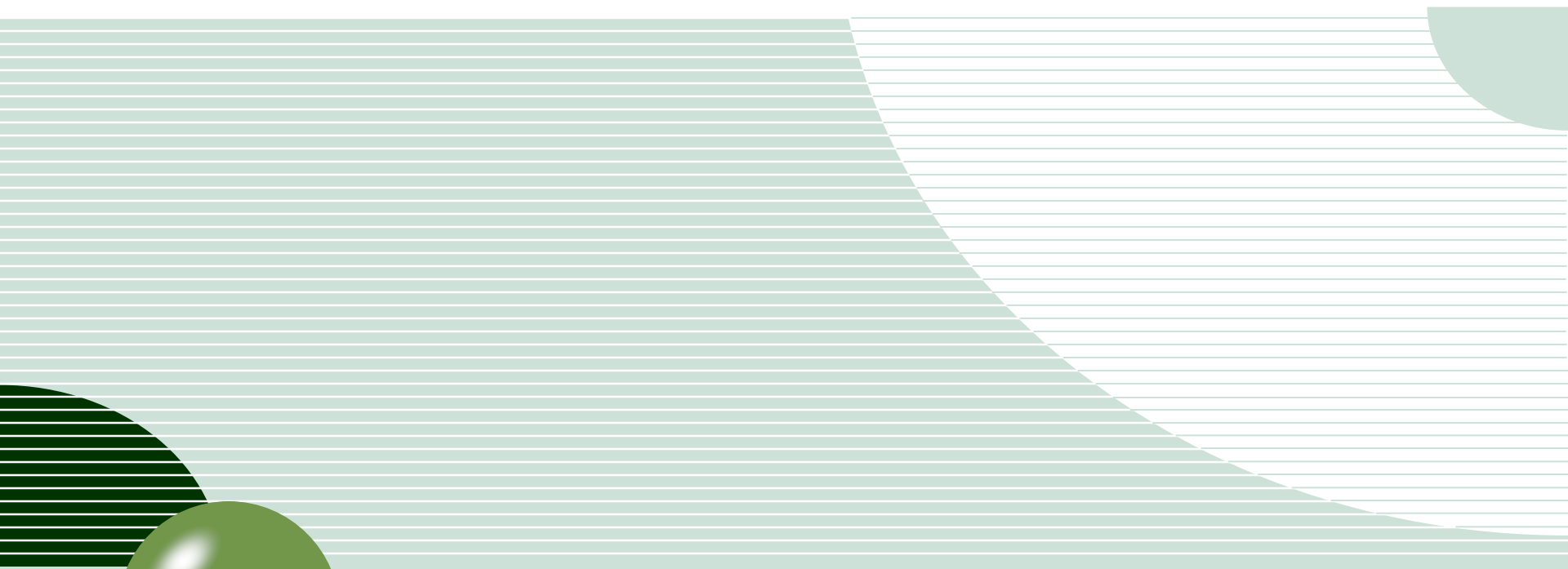
どうして多くの剤形があるのでしょうか

同一、同量の薬でも剤形が異なると・・・

- **作用発現時間、治療効果が異なる**
- **副作用が異なる**

Logo

薬の情報を知る



正確でかつ簡潔に書かれていて

かつ最新の医薬品情報は・・・

添付文書

添付文書の入手方法

- 医薬品の包装の中
- メーカーに請求して入手
- 独立行政法人医薬品医療機器総合機構PMDAのホームページから
入手

添付文書の検索

1. インターネットで
「添付文書情報メニュー」を入力
2. 医薬品の名称を入れる
3. 右側のリストで必要な薬品をクリック
4. 左下のダウンロードのPDFファイルをクリック

添付文書とは・・・

医薬品を使用する際の

一つの規則を示したものの

医薬品についてくる情報

- 添付文書
- インタビューフォーム
- 適正使用ガイド

医薬品添付文書の記載項目

臨床で利用しやすい形式

- A4版，4ページ以内，
- 警告、禁忌の文字の大きさは
8ポイント以上

薬の名称

- 販売名（商品名）
- 成分名（一般名称）
- 日本薬局方で定められた名称
- 欧文名

薬の名称

- 成分名

ファモチジン

剤形

濃度、含量

- 販売名

ガスター D錠 10mg

後発品の薬の名称

- 成分名

ファモチジン

一般名

- 販売名

ファモチジン D錠 10mg 「トーワ」

メーカー名

商品名のいろいろ

- マイスリー
- ロゼレム
- ペルジピン
- ペルジピンLA
- アスパラK
- アスパラCa
- ヒスロン
- ヒスロンH
- ガスター錠
- ガスター D錠

名前により持続時間が異なる

- アダラートカプセル
→ 1日3回
- アダラートL錠
→ 1日2回
- アダラートCR錠
→ 1日1回

錠剤の略号

LA	long acting
CR	Controlled Release
SR	Slow Release

項 目

- 禁忌
- 組成、性状
- 効能効果
- 用法用量
- 使用上の注意
- 体内薬物動態
- 臨床成績
- 薬効薬理

使用上の注意

慎重投与

重要な基本的注意

相互作用

副作用

高齢者 小児

妊婦・産婦・授乳婦

過量投与

適応上の注意

その他の注意